

令和2年9月25日

大津市長  
佐藤 健司 様

市民ネット21会派  
幹事長 奥村 功

## コロナ禍における地域経済支援についての要望書

未だ終息が見通せない新型コロナウイルス感染症に対し、市長が筆頭となり、市内一丸となって感染拡大防止と経済回復に向けた対策を推進されていることに感謝申し上げます。

疲弊する地域経済の活性化に向けた本市としての支援について、下記のとおり要望いたします。

### 記

#### 1. 大津市から事業者や市民へのメッセージの発信について

コロナ対策のため、市民が利用を控えている飲食業の経営に影響が出ており、店を閉めるところが出ているため、大津市として、感染対策宣言書やポスターの活用と合わせて大津市長からは、地域経済回復につながるよう、市民や事業者に対して継続的にメッセージや情報の発信を積極的に行われたい。また、記者会見においては、新規感染者数の情報だけでなく、3密対策、衛生対策により利用促進につながるよう、感染対策を実施している事業者をHPなどでPRされたい。

#### 2. 市民や各種団体が飲食業の利用を促進することについて

各学区の各種団体の考え方は、今年度の行事、飲食の利用を控える風潮があります。こうした流れで「年末・年始」の飲食機会が全て中止となれば、経営困難となる店舗は益々増加し、閉店されると考えます。よって、市民の活動や行動が少しずつ活性化し、地域経済が回復するよう大津市として取り組まれたい。

#### 3. 財政について

飲食業に対する行政支援だけでは事業の根本的な改善には至らない状況であり、今後、大津市の税収にも影響を及ぼします。財政健全化の観点からも、支援と経済対策の両面において、大津市も市民も事業者もそれぞれの立場で努力を積み重ねて行く必要があります。これまでの感染の発生した場面と対策、感染者から濃厚接触者への影響など詳しい情報による各店舗の具体的な感染対策をすることで、市民の利用が少しずつ増え、地域経済の回復に繋がり、そして、市税の収入につながるよう取り組みを進められたい。

#### 4. 倒産・閉店事業者への支援について

- (1) 大津市は事業者に対して、可能な限り直接的・間接的な支援を行われたい。
- (2) 倒産、閉店された場合でも事業者の再建に繋がるよう相談体制、救済処置を講じられたい。

#### 5. Go To Eat キャンペーンの活用について

Go To Eat キャンペーンが10月より始まることから、市内飲食店の利用促進が効果的になるよう、大津市としてコロナ対策HPやチラシの活用を積極的にPRされたい。

## ○事業者さんの声

- ・昼の需要は戻りつつある。
- ・特に夜の飲食団体が入らず回復していない。
- ・夜の6人以上利用を収入源にする店が厳しい。団体利用促進を望む。
- ・現金を得られる仕組みがないと、仕入れや支払いがまわらない。
- ・Go To Eat キャンペーンは仕組みがややこしく、支払いが翌月になることが課題と考える。
- ・お店のアルバイトを削減せざるを得ないため、アルバイトの方々への影響もかなり大きい。
- ・Go To Eat キャンペーンは指定先でしか使えない。また、電子決済のため2回/月の入金であり、キャッシュで仕入れのため、収入までの期間があり苦しい。キャッシュがありがたいが、現状は厳しい。
- ・キャッシュカード決済は、実際の入金まで月2回となり遅れる。
- ・楽天カードは翌日支払われる。
- ・サイゼリヤは食す時に口元だけを開閉できるマスクを活用している。
- ・デリバリー・テイクアウトだけでは効果が上がらない。また、今までされていた店舗にも影響が出ている。
- ・ホテル・旅館は8月から少しであるが戻ってきている。(Go To トラベルの好影響)
- ・すし、割烹は落ちている。
- ・喫茶は夜が落ちている。
- ・クリーニングは Cutter シャツが在宅勤務の影響で大きく減少している。
- ・2年半経過後にどうなっているか非常に不安である。今後「ワクチン・薬」が出来るまで、持ちこたえることができないお店は多い。また、今後の先行きが見通せず利子無しでも借入れできない。
- ・参考に、三重県津市では、官民連携（商工会議所主導）で買い物代金への先払いをクラウドファンディングで行い、プレミアム分は行政が補助している。数百万の目標を大幅に超過し、たくさん集まった事例もある。
- ・特に、コロナ対策をされた飲食店における感染拡大はほぼ起きていないということがわかるような資料も提示してほしい。
- ・記者会見において、新規感染者数だけでなく、重症者の状況や患者の減少、感染者からの感染率が低いことなど、ポジティブなデータも公表するとともに、事業者の対策状況などもアピールしてほしい。
- ・飲食関連産業の全てにおいても影響が出ている。

## ○Go To Eat キャンペーンの状態を大津市に確認した内容

- ・国の予算による農林水産省の支援（1セット、10,000円、12,500円分、一人2セット迄）
- ・オンライン予約すれば、さらにポイントが付く。
- ・東武トップツアー(株)＜旅行大手＞に確認中、クーポン券＝平和堂で販売予定 10/20(火)～ラインクーポン券＜各クーポン券＞は、「1月末迄販売し、3月末迄使用」>
- ・9/23(水)トップツアーから県内飲食店にメールでGo To Eat キャンペーンのご案内実施  
コールセンター設置・Go To Eat キャンペーン用チラシ(お店がGo To Eat 店として登録)
- ・10/6(火)10:00～12:00 コラボ滋賀で事業者に対し説明会を予定。
- ・大津市から商工会へ7月補正として3000万措置している。これを活用いただきたい。

### ○Go To トラベル商品券について (HP) 内容

- ・ 7月～旅行代金割引35%に加えて、10/1～地域共通クーポンが付与される予定。
- ・ 地域共通クーポン＝旅行代金15%分（例 20,000 円で 3,000 円）
- ・ 共通クーポンは一人一泊最高 6,000 円
- ・ 地域共通クーポン券または、電子クーポン<受取ログインし、クーポン発行、QRコード読み取りし、決済完了>、店舗はのちにまとめて、国に請求される。